



緑 風

《学校教育目標》 学ぶ人・思いやる人・鍛える人

帯広市立緑園中学校

校長 大泉 昭人

TEL 36-7819

ホームページはこちら →



緑園中HP

《今年度テーマ》 頑張ることは格好いい！

学校評価のお願い

本校の教育活動にどのような印象を抱かれているかを把握し、その結果を今後の学校経営の充実に生かすことを目的に「保護者アンケート」（前期末の学校評価）を実施します。

5月28日発行の学校だより（特別号①②）で本校の教育活動計画について紹介し、その後、学校だより等を取組状況を紹介してきました。この度、学校評価にあたり、関係する内容を抜粋して本紙でご紹介します。本紙を参考にさせていただき、アンケートへのご回答をお願いいたします。（詳細はp8）

1. 安全指導の取組



(1) 登下校指導 <4月9～11日>
年度始め、本校職員で校舎西側・北側・南東側の道路の交差点や横断箇所では交通指導を行いました。（町内会の方には毎日見守っていただいています）



(2) 自転車点検 <4月16日>
全国的に事故の多い自転車の使用についての指導と、点検を実施しました。



(3) 避難訓練 <5月20日、9月9日>
様々な状況下で、避難経路や「危険を予測し、回避する」行動を確認しました。



(4) SNS教室 <7月18日>
勝毎デジタル担当職員を講師に、情報リテラシーを身につけ、情報を賢く扱うにはどうしたらいいのかを考える学習を実施しました。



(5) いのちの学習 <7月19日、9月12日>
①外部の専門職員を講師に「多様な性」についての学習、②助産師を講師に「生と性」についての学習を

行いました。思春期の「心と体」について学習し、命の尊さについて考えを深めました。（詳細は「4. 豊かな心を育む取組」p6を参照）



【今後の予定】 **(6) 防災教育** <10月～12月予定>

(7) 薬物乱用防止教室 <3月予定>

2. 学力向上の取組

(1) 指導工夫で学びの充実へ

① 読書活動・対話活動



<緑園タイム>

読むことの習慣化、落ち着いた日常を定着していく「朝読書」に加え、自分の考えをまとめ、伝える力を向上させる「対話活動」を朝の会の前に行っています。

② ICT活用



<タブレットの活用>

大型モニターや、1人1台端末の活用により、個々の習熟度や興味に応じた学習を充実させるなど、効果的な指導工夫を進めています。

③ 授業サポート・誂論学習会



<授業サポート>

地域ボランティアが、火・水・金の午前中に、主に数学の授業サポートを行います。教員が全体指導を行い、ボランティアが個別にサポートしています。

④ 長期休業学習会



<試験前学習会>

定期テスト前の2～3日間、放課後に実施しました。前期は、のべ200名以上の生徒が参加し、教員や地域ボランティアに質問しながら学習を進めていました。

<夏休み学習会> 7月24～26日

畜大生・柏葉生・三条生・地域ボランティアの協力のもと、3日間実施しました。

<お花教室> 7月25日

地域ボランティアを講師に実施しました。

<実験教室> 7月26日

解剖実験等を実施しました。（上記の詳細はp7を参照）

【今後に向けて】

※①～③を継続していきます。また、①については、全校朝会や学年朝会を設定し、伝え合う活動を充実させたり、②の基礎となるタイピング活動も行ったりします。④は内容を変えて冬も実施する予定です。

(2)よりよい授業を目指して

研究テーマ「すべての生徒の well being を育む確かな学力の定着」～個別最適な学びと協働的な学びを用いた授業改善～を目指し、計画的に校内研修（教員や関係者による授業参観や協議）を行っています。

① 生徒指導の視点



<生徒指導の視点の研修> 5月20日
生徒指導の視点（①自己存在感の感受、②共感的な人間関係の形成、③自己決定の場の提供、④安全・安心な風土の醸成）をいかに、生徒理解に基づく学習者主体の授業づくりを研究するため、生徒指導提言をもとにした学習会を行いました。



<ICT活用研修> 7月19日
「授業におけるICTの効果的活用」について、外部の専門職員を講師に招き、先進校での取組や、様々なアプリの活用例を参考に、講話や演習を交えて研修を行いました。

② ICT活用



<授業研究>
校内で計画的に全学年の授業研究を実施します。10月11日はエリア公開研（関西小会場）の実施、10月20日は指導主事を招き、研究授業と協議を行います。ICTの活用、生徒指導の視点、効果的な対話をとり入れながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を用いた授業づくりを実現するため、積極的に外部の助言を活用していきます。

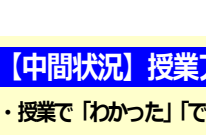


③ 授業研究



<授業・学習アンケート> 学期毎
生徒と教員から学期毎にアンケートをとり、定期的に取組を振り返って、授業づくりの参考にしていきます。

④ アンケート



【中間状況】授業アンケートより（7月末の全校平均）

- 授業で「わかった」「できるようになった」という満足感や達成感がある。
国語… 90.8% 数学… 94.6% 理科… 90.0%
社会… 92.4% 英語… 90.7% (前年比平均+3.1)
- 緑園タイムで自分の考えの理由を分かりやすく書くことができる。
… 92.9% (前年比+4.1)

【中間状況】生活学習アンケートより（7月末の全校平均）

- ① 友達の話や意見を最後まで聞くことができる。
… 96.2% (5月比+1.6, 前年比+1.6)
- ② 自分の考えや意見を発表することは得意である。
… 62.1% (5月比-0.5, 前年比+8.6)

【今後に向けて】

- ① 授業アンケートは各項目で高い結果となり、生活学習アンケート結果は昨年より上昇傾向にあります。継続して「できる」「わかる」授業づくり、思考力・判断力・表現力を高める対話活動を充実させます。
- ② 各種テスト結果による個々の達成状況や、職員の自己評価、外部からの助言、生徒アンケートの結果を活用しながら、指導と評価の一体化を目指し、より良い授業づくりを進めます。

(3)学習習慣の定着を目指して

① 家庭学習の推進



<家庭学習の推進>

日常的に家庭学習を直向きに取り組み、積み上げていくために、宿題や課題以外に、eライブラリーや自学ノートなどを活用しています。自学ノートについては、生徒が自らスケジュールや学習内容を調整して、取組を積み上げることで、達成感を得て、粘り強く取り組む意識を育みます。

② 取組への振り返り



<自らの取組への振り返り>

テスト計画表の振り返りや教育相談で、自分を見つめる機会となるよう左の視点でお話しています。話すことで自分の考えが整理され自分が決めることで行動に覚悟が生まれます。主体的な考えと行動を支援して、背中を押していきます。

- ・現時点での自分を知り、どれだけ自分が成長したか、これからすべきことは何かを探る機会としてほしい。

③ 家庭との連携



<家庭との連携>

7月17日、地域ボランティア（畜大錬成会塾長）を講師に「大人の学習会」を開催しました。進路情報や子どもを伸ばす家庭での声かけなどについてお話をいただきました。今後も、懇談会や通信等を通して家庭と一緒に環境づくりを進めていきたいと考えています。

【中間状況】

- 主体的に学習に取り組んでいる。
 - ・4月の全国学力・学習状況調査で、「自分で学び方を考え、工夫している」3年生… 全国とほぼ同じ。
 - ・7月の生活学習アンケートで、「自分で計画を立てて勉強している」全校平均… 75.3% (5月比+2.2, 前年比+11.0)
- 平日1時間以上、土日2時間以上、家庭学習している。
 - ・4月の全国学力・学習状況調査で、3年生はともに全国を上回っている。
 - ・7月の生活学習アンケートで全校平均は、
平日1時間以上… 74.0% (5月比+3.6, 前年比+12.0)
土日祝日1時間以上… 69.8% (5月比+2.9, 前年比+8.0)

【今後に向けて】

- ① 家庭での学習習慣の定着に向け、自学ノートやchrome book、計画表の活用、面談での働きかけを継続します。
- ② 「キャリア教育」を通して、なりたい自分に近づく準備や、学習への動機付けを継続します。
- ③ 望ましい生活習慣の定着に向け、食育や面談を通じた生徒の主体的な取組への後押しと、通信・懇談会等を通じた保護者と連携した環境づくりを継続します。

(4)全国学力・学習状況調査より



4月18日、3年生を対象に国語・数学を実施しました。今年度の結果は、p 3の通りです。詳細は、後日改めて紹介します。

【結果】全国学力・学習状況調査より（4月の3年生）

<国 語>

△平均正答率が全道・全国をやや下回っている。

- 話し合いの中で、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することが、全道・全国を大きく上回っている。
- 話し合いの中で、資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝えるように話すことが、全道・全国を大きく上回っている。
- △本文を読んで、文書と図を結び付けて内容を解釈することや、必要な情報に着目して要約することに課題が見られた。

<数 学>

△平均正答率が全道・全国を大きく下回っている。

- 簡単な場合について、確率を求めることにおいて、正答率が全道・全国を上回っている。
- 授業で学習したことは、将来、役に立つと考えている生徒が多く、今後の学習で活用しようという意識が、全道・全国を上回っている。
- △事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題が見られた。

<生徒質問紙>

- 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりできたと感じている生徒の割合が、全道・全国を大きく上回っている。
- 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた生徒の割合が、全道・全国を大きく上回っている。
- 授業で学んだことを、ほかの学習に生かそうとしている生徒の割合が、全道・全国を大きく上回っている。
- 授業でのICT機器の活用頻度が高く、(1)自分のペースで、(2)分からないことを調べて、(3)楽しみながら学習している生徒の割合が、いずれも全道・全国を上回っている。

【今後に向けて】

※課題解決に向け主体的に取り組む意欲が高まっていた。
また、話し合う活動を通して、新たな考え方を理解し、自分の考えを深めたり、わかりやすく伝えたり、今後に生かそうとしたりする意欲が高まっていた。しかし、本文の内容を解釈することや要約することにおいて課題が見られた。

引き続き、思考力・判断力・表現力を高める対話活動を継続し、さらに、読解力を高める活動を充実させます。

- ①授業の中で、考えの「理由」を話したり、書いたりするアウトプットの時間を設けます。（知識をつなげる、自分の考えをまとめる）
- ②朝読書の継続や読書の推奨、授業の中で本文の内容を解釈することや要約する活動を丁寧に行います。
- ②週に1回、朝の時間をつかって「緑園タイム」（お題について自分の考えをもち、その理由をはっきりさせ、対話や文章にまとめる学習）を継続します。
- ③チャレンジテストや学力テスト・定期テスト・標準学力検査等を活用しながら、短期間で検証・改善します。

3. 体力向上の取組

(1)全国体力・運動能力・運動習慣等調査より

昨年度（令和5年度）の結果は、

- 男女共に、筋持久力・敏捷性・全身持久力が高い。
- △男女共に、筋力・柔軟性に課題が見られた。
- 男女共に、運動が「好き」、「大切」と答えた生徒の割合は全国を上回り、体育の授業が「楽しい」、「進んで参加している」、「卒業後も運動したい」、「朝食を毎日食べている」生徒の割合は全国を大きく上回っている。（生徒質問紙より）

この結果をもとに、今年度（令和6年度）、主に以下の取組を実施しています。

①体育授業の工夫

効率的な体の使い方の指導や、基礎的な筋力を向上させる運動を取り入れ、運動量を確保した授業展開を行っています。



②「対抗戦」の実施

球技大会やアイスホッケー大会、体育祭等の体育的行事を実施しています。生徒は様々な種目の特性や楽しさを味わい、対抗戦を通して仲間意識を高めています。



【今年度の状況】新体力テストより（6月の2年生）

種 目	体力要素	男子	女子
握力	筋力	△	△
上体起こし	筋パワー・筋持久力	○	△
長座体前屈	柔軟性	△	△
反復横とび	敏捷性	○	○
20mシャトルラン	全身持久力	△	○
50m走	疾走能力	○	△
立ち幅とび	筋パワー・跳躍能力	-	△
ハンドボール投げ	巧緻性・投球能力	○	-

※ R5の全国平均より高い(○)、同程度(-)、低い(△)

- 男女共通で敏捷性が高い。また、男子は筋持久力・疾走能力・投球能力、女子は全身持久力が高い。
- △男女共通で筋力・柔軟性に課題が見られた。また、女子は筋持久力・疾走能力・跳躍能力に課題が見られた。

【今後に向けて】

※同一学年（現2年生が1年生の時）の比較では、男女共に柔軟性以外の体力が大きく向上し、特に筋持久力・疾走能力の向上が著しかった。引き続き①②を継続し、新たに5月以降から③を実施しています。

- ①体育授業の工夫（継続）
- ②「対抗戦」の実施（継続）
- ③昼休みの体育館開放、グラウンド開放を実施し、体育的活動の企画・推進を行う。（日常的に運動に親しむ）

② 感染対策と教育活動

昨年5月、新型コロナウイルス感染症が5類に移行しましたが、様々な感染症の感染状況を注視し、その都度、市教委の指導・助言のもと教育活動を進めています。今後も、少しでも子どもたちの心が満たされる取り組みを工夫して実施していきます。

③ 望ましい生活習慣の定着

栄養教諭による食育指導を実施し、掲示や講話、北海道ホテル料理長を招いた調理実習などを行い、「食の大切さ」について学習を深める予定です。



今後も、担任・学年団による生活指導、顧問による部活動指導等を通じて、栄養・休養・運動をしっかりとる生活習慣を意識できるように、保護者と連携して進めます。

4. 豊かな心を育む取組

(1) 協働的な学びの充実

① 心のつながりを生む取組

・体育祭「仲間とつくる感動」〈6月1日〉

「頑張ることは格好しい」「心を一つに揃えることは素敵なこと」を体現し、仲間を励ます、健闘を讃え合う活動となりました。



・文化祭「心一つに歌声響く」〈10月5日〉

「個性を輝かせるステージ発表」「心を一つに揃える合唱」を通して、「揃えること・違えること」



の意義を体現し、お互いが認め合い、表現力や情操を高め合う活動となりました。

【中間状況】生活学習アンケートより（7月末の全校平均）

○学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。

… 95.3% (5月比+3.5、前年比+3.4)

【今後に向けて】

※生徒たちは体育祭・文化祭を通して、多様な他者とよりよいものをつくり出す楽しさや感動を共有していたようです。

今後もスポーツ大会や、日々の活動の中で、「頑張ることは格好しい」「心を一つにそろえることは素敵なこと」を合い言葉に、夢中になれるものを見つけられるよう働きかけていきます。

② 思いを伝え合う取組

・意見発表「私の思い、言葉こめて」〈8月30日～10月5日〉

夏休みに全校生徒で取り組み、学級発表、代表による学年発表・文化祭発表を行いました。疑問や葛藤に対して「自分や周囲はどうしたらよいのか」を考え、自分たちのあり方や生き方を中学生の視点で発表し、思いを言葉で伝え合いました。



③ 「地域のためにできること」を考える取組

・ボランティア活動 〈7月9～11日、24～26日〉



「いつもお世話になっている地域のために何かできないか」という思いのもと、生徒会主催でボランティア活動が行われています。



・第1回目は、「ゴミ拾い登校」(7月9～11日の3日間)を行いました。



・第2回目は、「夏休み学習サポート」(7月24～26日の3日間)を行い、エリアの児童(森の里小・開西小)への学習サポートを行いました。



今後も、企画・実施していく予定です。



【今後の予定】

- ・1年防災学習「地域探索」〈10月15日〉
～危険を予測し、対応を考える～
- ・2年防災学習「避難所設営」〈11月〉
～相手意識を高める～
- ・3年防災学習「避難所運営」〈12月〉
～対話と合意形成の積み上げ～



④ 地域の教育資源を活用した学び

・修学旅行 〈5月8～11日、報告会6月〉

事前学習と旅行を通して、研修先(道南・道央)の歴史・文化・産業等について調べ、ふるさと帯広との違いや、帯広の良さの再発見、帯広の未来について考えたことを各班でまとめました。後日の報告会では、下級生にタブレットを活用しながら発表しました。



仲間と協力しながら探究し、日頃の学びを修める(修学)旅行をみんなが主役となって作り上げていました。

・おびひろ市民学「SDGs」他

～持続可能な社会のために～



<1年生>

・「手話講座」9月9日
「地域の大人にできること」をテーマに実施しました。様々なコミュニケーションがあり、お互いを尊重する大切さを学習しました。



・「SDGs学習」9月12日～
「持続可能な社会のためにできること」をテーマに、地域や社会の未来に対して責任ある行動とは何かを考える学習を行いました。



- ①JICAで「国際協力」の学習
- ②「はぐくむ」で「帯広の森づくり」の学習
- ③青年会議所から講師を招き、企業のSDGsの取組を学習
- ④都市環境部より講師を招き、「自分たちに出来るSDGs」の交流とまとめ



<2年生>

・「認知症サポーター養成講座」6月19日
「地域の大人にできること」をテーマに実施しました。人を大切にすることや支え合うために、自分ができることは何かを考える学習を行いました。



<3年生>

・「帯広市の台所事情」7月5日
市財政課職員を講師に招き、「帯広市のまちづくり」と「財政」について学習しました。



・「選挙講座」9月9日
選挙の仕組みや模擬選挙を行い、主権者教育を実施しました。

(2)将来の自分の姿を考えさせる取組

「職業人に聞く」や「職場体験」、「高校の先生に学ぶ」、



教育相談や進路説明会、三者面談を通して進路について考えを深める機会を設定しています。また、生徒は部活動や地域活動等での出会いから、将来の生き方の刺激を受けています。

・1年進路学習「職業人に聞く」<10月22日予定>

～働く意義、職業観を学ぶ①～

「未来創造授業」と題して実施します。帯広青年会議所より様々な職種講師を招き、働く意義や必要な資質・能力、好きなことをどう将来に生かすかなどのお話をいただきます。



・1年進路学習「職業人に聞く」<12月4日予定>

～働く意義、職業観を学ぶ②～

企業講師と3つの中学校をオンラインで結び、インタビュー活動を通して、職業観や生き方を考える学習をします。



・2年進路学習「職場体験」<9月12～13日>

～働く意義、職業観を学ぶ③～

近隣の28事業所に協力をいただき、2日間の職場体験を通して、働く意義や職業観について学びを深めました。



・3年進路学習「高校の先生に学ぶ」<7月1～4日>

～具体的な進路実現へ～

近隣の高校(7校)の協力により、3年生を対象に説明会を行いました。各校・学科の特色や進路、学校生活など、動画やスライド等で説明を受け、質問等により自らの進路選択に必要な情報を集めました。



・3年進路学習「高校の授業体験」<11月予定>

・インターンシップ・教育実習の受入 <7月、9月>

将来、教職員を目指す高校生(8名)、大学生(卒業生2名)が来校しました。大学生は授業をはじめ教員の業務全般を体験し、高校生は授業見学や学習支援、最終日には中学生へのプレゼンを行いました。自分の経験談を交え、中学生の勉強法や生活の心得、進路の見通しなど、対象学年に応じた内容で自作カードなどを使いながら工夫してお話しました。中学生は、「年の近い先生」から進路や将来像について多くの刺激を受けていました。



【中間状況】全国学力・学習状況調査より(4月の3年生)

○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると感じている生徒の割合は、全国を大きく上回っている。

【今後に向けて】

※探究的な学習を通して、生徒たちは主体的に取り組み、成果を共有し、振り返って改善する姿が多く見られました。今後も、おび学「SDGs 郷土のためにできること」や修学旅行の自主研修「郷土との比較」、職業しらべや職場体験「将来の生き方」、防災教育「地域のためにできること」など、自分事として探究していく学習活動を設定していきます。

【中間状況】生活学習アンケートより（7月末の全校平均）

- 将来の夢や目標を持っている… 75.3% (5月比+2.6, 前年比+2.1)
- 人の役に立つ人間になりたい… 95.3% (5月比+0.8, 前年比+1.5)

【今後に向けて】

※将来「自立し、幸せな人生を切り拓く」ための能力や心を培うために、今後も、多くの人と多くの経験を重ねながら、自分の生き方を考える機会を設定していきます。日々の授業や学級・生徒会活動に加え、進路学習、ボランティア活動、防災教育、スポーツ大会などを計画しています。

(3)道徳授業の充実



①「考え、議論する道徳」〈年間〉

アンケートや面談等による生徒の実態を調査した後、「考え、議論する道徳」の授業を全教員で担当を決めて実践しています。

②「思春期の生と性」を考える

思春期の悩みやお互いの理解、命の尊さや人権について考えを深めるため、「生と性」をテーマに特設授業を行いました。

■「多様な性の学習」〈7月19日〉

■「いのちの学習」〈9月6・12日〉
「思春期の心と体」「生命・人権の尊重」「いやな思いをなくすために」「SOSを出す勇氣」「悩んでいる人へのサポート」などについて考えを深めました。

【中間状況】全国学力・学習状況調査より（4月の3年生）

- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると感じている生徒の割合は、全道・全国を上回っている。

(4)集団と自分の関わりを考えさせる取組

① 各種アンケート結果の活用 〈4・5・6・7月〉

全国学力・学習状況調査、いじめ等調査、生活学習実態調査や教育相談等を活用し、生徒の実態把握に努めるとともに、今後について考えを深める機会を設定しています。



② hyper Q-U調査 〈5月〉

学級全体と生徒個人の適応感を調べ、SOSのサインや、集団の中の関係性について確認し、支援の参考にしています。

③ 教育相談 〈6月、随時〉

学習や生活、人間関係、部活、進路等を記載した教育相談シートをもとに実施しました。人との関わり方や将来の姿など、いまの自分と向き合い、「これからすべきことは何か」、「将来どんな生き方をしたいか」考えを深める機会にしました。

④ 全校集会・学年集会 〈随時〉

表彰を受けた団体・個人による表彰伝達式（全校集会）を行い、挑戦や努力を讃え合う場、感謝を伝える場として実施しました。また、学年協議会を中心に学年集会を行い、より良い学校生活にするために呼びかけなども行ってきました。

【中間状況】いじめアンケートより（5月の全校）

- ・「いやな思い」があった… 5.7% (15名)
- ・困っても誰にも相談しない… 14.0% (34名)
- 自分は誰かの役に立っている… 76.0% (前年比+16.2%)

【今後に向けて】

※以下の取組を継続していきます。

- ①「心の健康観察」アプリを活用し、毎朝、生徒の状況を確認していきます。（2学期より実施しています）
- ②「いやな思い」を積極的に認知し、面談を通じて、人との関わり方や距離感、今後すべきことについて考えさせる機会を設定します。〈面談：10～11月+適宜〉
- ③困ったときの解決方法を考えさせます。回避することは緊急時には有効です。でも、本当に解決するには相談することが大切で、相談できる人を複数名決めておくことと安心だと伝えていきます。
- ④協働的な学習を通して、一人一人の「存在そのものが尊い」こと、違いや良さを認め合い、自己肯定感や自己有用感を高めていくことで学校生活を楽しく豊かなものにする意識を促しています。
- ④「いやな思い」をうまくいようにする「境界線と同意」の学習、困ったときの「SOSの出し方」の学習を特設授業「いのちの学習」（9月実施）で実施しました。考えをさらに深め、具体的に行動できるよう支えていきます。



【中間状況】全国学力・学習状況調査より（4月の3年生）

- 学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、お互いのよさを生かして解決方法を決めていると感じている生徒の割合は、全道・全国を大きく上回っている。
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある生徒の割合は、全道・全国を大きく上回っている。

【中間状況】生活学習アンケートより（7月末の全校平均）

- 自分には良いところがある… 76.6% (5月比+2.3, 前年比+0.3)
- 周りは自分を認めてくれる… 84.7% (5月比+1.0, 前年比-1.4)
- 失敗を恐れず挑戦している… 78.3% (5月比+1.6, 前年比+3.3)
- 普段の生活で、幸せな気持ちになることがある… 91.9% (5月比+2.0, 前年比+6.6)

【今後に向けて】

- ※「お互いを認め合おう」「良好な友人関係をつくろう」「幸せを感じ取ろう」「挑戦しよう」とするpositiveな気持ちが全体的に向上していました。生徒の意識やそのきっかけとなる保護者の声かけが大きな要因と考えています。
- ・今後も生徒指導の視点（自己存在感、共感的人間関係、自己決定、安全安心）を生かした集団づくりを進め、学び合いの環境の維持・向上に努めていきます。

5. 小中連携の取組

～緑園中・開西小・森の里小の取組～

(1) 中学校教員による合同体育

① 運動づくり教室 <6月12～21日>

開西小・森の里小に本校の体育教師が2回ずつ赴き、「運動づくり教室」を実施しました。児童は目をキラキラさせながら熱心に取り組んでいました。



② 「合同体カテスト」 <6月25～27日>

各小学校の5・6年生が来校し、本校生徒と「合同体カテスト」を実施しました。中学生が動き方やコツをマンツーマンで教え、「いいよ」「上手だよ」と声をかけると、小学生はそれに応えるように、熱心に取り組んでいました。5種目の測定が終了し、最後に感想を聞くと、中学生からは「どんどん上手くなったね」、小学生からは「優しく教えてくれてありがとう」などの言葉が交わされました。その言葉や姿を見ると、中学生にとっては、一生懸命教えることで小学生の役に立ったと感じ、自己有用感を高めているようでした。また、小学生は教えてくれたことに感謝し、自分もあんな中学生になりたいと、あこがれの気持ちを持ってくれたようです。小・中学生がつながり、ともに高め合う良い機会となりました。



③ 「体カテストサポート」 <7月2～4日>

森の里小に本校生徒が赴き、低学年のサポートをしました。



(2) 学習会・体験学習による児童生徒の交流 <7月24～26日>



夏休み、本校を会場に「学習会」「お花教室」「実験教室」を実施し、本校生徒が小学生に学習サポートをしたり、児童・保護者と一緒に体験学習をしたりしました。児童生徒の交流を通して、中学生は先輩としての振る舞い、児童は将来の自分の姿を考える機会となりました。

(4) 教職員の連携会議・研修会

① 「緑園中エリア会議」 行事参観や職場体験など、交流の具体を話し合いました。



② 「小中連携会議」 小中のなめらかな接続に向けた事業の企画や、情報交流を随時行っています。

③ 「小中合同研修」 エリア公開研や小中教員による授業参観の実施、担当者別研修等の準備を行っています。

【今後に向けて】

※コロナ禍を経て、多くの交流を行うことができるようになりました。今後も小中連携を進め、中学生の自己肯定感の醸成や、小学生が中学校への入学を楽しみにできるような取組を進めます。 ※上記(1)～(3)の今後の取組

- (1) 体育以外の出前授業や、3学期には「入学説明会」を行う予定です。
- (2) 冬休みも内容を変えて行う予定です。(性教育を含む子宮の解剖実験、冬のお花教室、中学生ボランティアによる児童学習会)
- (3) 教職員の各交流を引き続き行います。

学校教育目標の達成に向けて

<学校教育目標>

学ぶ人・思いやる人・鍛える人

<目指す学校像>

すべての人にとって学校は楽しいところ

(ウェルビーイングを育む学校)

<目指す生徒像>

- (1) 意欲的で粘り強く、向上心旺盛な生徒
- (2) 明るくたくましく、心豊かな生徒
- (3) 力を合わせ、創意工夫する生徒

<教育活動の具体>

学校教育目標の達成に向けて、知・徳・体を一体で育む教育活動の具体として、①安全指導の取組、②学力向上の取組、③体力向上の取組、④豊かな心を育む取組、⑤小中連携(学びをつなぐ)の取組を行ってきました。(p1～7参照)

<目標達成の合い言葉「頑張ることは格好いい!」>

例え悪条件でもpositivelyに、最善を尽くすことで得られる経験があります。その一つ一つが自信になり、人をたくましくしてくれます。「**頑張ることは格好いい!**」を合い言葉にしながら、そんな経験を一つでも多くプレゼントしたいと思っています。

【中間状況】生活学習アンケートより (7月末の全校平均)

<自己肯定感>

○自分には良いところがある… **76.6%** (5月比+2.3, 前年比+0.3)

<向上意欲>

○ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある

… **97.9%** (5月比+2.5, 前年比+3.7)

○失敗を恐れず挑戦している … **78.3%** (5月比+1.6, 前年比+3.3)

○将来の夢や目標を持っている… **75.3%** (5月比+2.6, 前年比+2.1)

○人の役に立つ人間になりたい… **95.3%** (5月比+0.8, 前年比+1.5)

○自分で計画を立てて勉強をしている

… **75.3%** (5月比+2.2, 前年比+11.0)

○学校に行くのが楽しい … **78.7%** (前年比+0.1)

【今後に向けて】

※生徒の努力、保護者の協力により、昨年度に比べて全体的に向上しています。個々の課題に着目し、全ての生徒が向上していけるよう、(1)将来の目標(生き方)について考えを深める「キャリア教育」、(2)学び合いを支える「集団づくり」、(3)危険なとき、困ったときの対処法を体得する「安全教育」を通して、引き続き、知・徳・体を一体で育む教育活動の各取組を進めていきます。また、今後も学びの環境を保護者の皆さんと力を合わせてつくっていきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

※ 以上を参考にさせていただき、**保護者アンケート(学校評価)**への回答をお願いいたします。

教育に関する保護者アンケート（前期末）の実施とお願い

本校では、年度当初に学校教育目標の達成に向けた取組について5月(学校だより)にお示しし、教育活動を進めてまいりました。後期をむかえるに当たり、前期までの達成状況(p1～7)を保護者の皆様と共有し、「保護者アンケート」(前期末の学校評価)にて、評価をいただきたく存じます。

本校の教育活動にどのような印象を抱かれているかを把握し、その結果を今後の学校経営の充実に生かすことを目的としておりますので、ご協力をお願いいたします。

- 1 目的 本校の教育活動にどのような印象を抱かれているかを把握し、その結果を今後の学校経営の充実に生かす。
- 2 内容 アンケート内容は以下の通りです。

	教育目標・重点	質問内容
Q 1	学ぶ人	・緑園中学校は、生徒の学力向上に取り組んでいますか。
Q 2		・生徒は、自ら時間の管理ができ、よく学んでいますか。
Q 3	思いやる人	・緑園中学校は、豊かな心を育てる教育実践を行っていますか。
Q 4		・生徒は、よく挨拶ができ、感謝を表現できていますか。
Q 5	鍛える人	・緑園中学校は、心身を鍛える生徒を育てていますか。
Q 6		・生徒は、自ら心身の健康を図っていますか。
Q 7	頑張ることは 格好いい！ ～自己肯定感を持ち 向上できる人～	・緑園中学校は、生徒にとって活躍の場がある学校ですか。
Q 8		・緑園中学校は安全・安心な環境づくりに取り組んでいますか。
Q 9		・緑園中学校は、生徒の自己肯定感や向上意欲を高めていますか。
Q10		・緑園中学校は、保護者にとって協力し連携できる学校ですか。
Q11		・緑園中学校の「保護者への情報提供」に満足していますか。
Q12		・教職員の「保護者や生徒への対応は親切」ですか。

※ 「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまらない」、「当てはまらない」から1つ選んで回答ください。(別紙アンケート用紙またはWebで)

- 3 回答方法 以下のいずれかの方法でお願いします。(一家庭一回答です)
 - ① 別紙アンケート用紙を記入し、封筒に入れて提出
(封筒は一緒に配付しています)
 - ② 右記「QRコード」によるWeb上での回答
(②の場合は、空の封筒をご提出ください)



- 4 回答期日 10月9日(水)～15日(火)